

■ 成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値
				R4	R5	R6	R7	
1	不正アクセスによる情報の改ざんや流出等があった回数	回	0	R2	0	0	0	0
2	施設の統廃合・複合化を決定した公共施設数(累計)	施設	2	R2	2	2	4	6
3								
4								
5								
6								
7								
8								

■ 市民アンケート調査

項目	重要度	満足度	現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1	行政情報を市民が入手しやすい仕組みが整っている		0.95	1.13	1.09	重要度及び満足度ともに数値が下がった。市民への情報発信を高めるため、様々な媒体を通じて更なる情報提供の仕組みを充実させていく必要がある。
		▲ 0.12		0.01	▲ 0.09	
2						
3						
4						

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 行政情報の適切な管理	公文書の取扱いの適正な運用を図るとともに、電子決裁システムの運用方法について検証を進め、電子化による文書管理制度の確立に努めた。
② 公有財産の効率的・効果的な活用	未利用地の活用等について検討し、活用が見込めない財産の売却を進めた。施設の適切な管理するため、利用ニーズを踏まえ統廃合や複合化等を計画的に進めていく。
③ 新庁舎整備の推進	新庁舎の整備スケジュールを延伸することとした。今後は、財政負担の軽減を図るため、基金を計画的に積立てるとともに整備手法等について検討する。
④	
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

<p>行政情報の適切な管理については、情報システムのクラウド運用により適切に管理できている。また、令和5年度から文書を電子的に收受・供覧等し、決裁を行う仕組み(電子決裁)を導入し、決裁に係る文書等について可能なものからデジタル化を図り、電子文書での処理が定着してきている。電子処理により決裁等に要する時間の削減と決裁状況、文書の所在等が電子上で即時に確認でき、迅速な意思形成等につながった。公有財産の効率的・効果的な活用については、公立幼稚園について、2園を1園へ統合する方針を決定した。新庁舎整備の推進については、新庁舎の建設予定地(エリア)とした「亀山駅周辺」において、具体の建設地の検討を進めたが、今後予定されている大規模施設整備事業(ごみ処理施設、新庁舎、学校施設、し尿処理施設)について、整備スケジュールを検討した結果、新庁舎の整備時期を6年程度延伸することとした。また、この整備スケジュール延伸に併せ、将来の財政負担を軽減するため、庁舎建設基金の積み立て目標金額を増額する計画とするとともに、令和6年度については計画どおり1億円を積み立てることにより、新庁舎整備に向けた財源確保を図った。</p>	<p>C</p> <p>あまり進まなかった</p>
--	----------------------------------

今後の展開方針

<p>行政データの適切な管理については、継続して適切なデータ管理を徹底するとともに、情報セキュリティ意識を高め、行政情報の適正管理を徹底する。文書管理について、電子決裁導入に伴う庁内の文書のデジタル化の度合いや決裁等に係る事務処理量の増減等に関する調査を実施し、公文書の電子化に係る検証を行う。公有財産の効率的・効果的な活用については、長期的な整備効果を見据えた施設整備等、庁内横断的な調整を図り計画的に進める。新庁舎整備の推進については、様々な整備手法を調査・研究しつつ、具体の建設場所について検討を進めていく。</p>
